

都市再生整備計画

はん だ れ き し ぶ ん か か お
半田歴史文化が香るまち地区

あ い ち は ん だ し
愛知県 半田市

第5回変更
令和6年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	愛知県	市町村名	はんだ 半田市	地区名	はんだれきしふんか かお 半田歴史文化が香るまち地区	面積	178.0	ha
計画期間	2 年度 ～ 令和 6 年度			交付期間	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度			

目標 半田の歴史文化が感じられるまちづくり ～住んで都。来て虜～ 目標1：半田の歴史や文化が感じられるまちづくりを目指す。 目標2：回遊性が高く、快適にまち歩きが楽しめる中心市街地の形成を目指す。 目標3：賑わいのある中心市街地の形成を目指す。
目標設定の根拠 都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 名鉄知多半田駅からJR半田駅を中心とした本市の中心市街地は、JR武豊線により東西に分断され、JR半田駅前の商店ではシャッター街が散見されるなど、中心市街地としての魅力が低下している。一方で、中心市街地には蔵の建ち並ぶ半田運河や歴史あるJR武豊線の鉄道遺産などの歴史的資源が残されている。こうしたことから、鉄道による中心市街地の分断を解消し、交通の円滑化を図るとともに中心市街地の利便性を高めるため、JR武豊線の鉄道高架を行うとともに側道を整備する。併せて、JR半田駅前では土地区画整理事業を実施し、面整備と幹線道路等の整備による一体的な市街地を形成し、住環境の向上するとともに、テレワーク施設の整備やワークショップを実施することで、中心市街地における産業人材及び地域の担い手の創出を行う。このように、中心市街地では、側道等の整備により中心市街地へのアクセスを高め、知多半田駅前との連携を強化するとともに、歴史的資源を活かしながら、半田の歴史文化を感じ、誰もが出かけたいと思う都市空間の創出により、拠点としての魅力向上を図る。 また、本地区には、明治時代にビール工場として建築された半田赤レンガ建物や童話「ごんぎつね」の舞台である岩滑地区等の観光拠点を含んでいる。半田運河、半田赤レンガ建物及び岩滑地区の各拠点での交流を促進するため、各々の連携を強化し、魅力や利便性を高める必要がある。岩滑地区においては、南吉童話の世界観を創造し、また維持していく活動を支える人たちの活動拠点として岩滑公民館の整備を行う。
まちづくりの経緯及び現況 本市は、名古屋市の南、知多半島のほぼ中心に位置している。本市には、知多半島の各都市や名古屋市と連絡する知多半島道路や南知多道路、中部国際空港へ連絡する知多横断道路があり、2か所のインターチェンジが整備されている。市の中央では、JR武豊線と名鉄河和線の2本の鉄道が縦断している。また、臨海部に造成された工業用地には衣浦港が整備されており、本市は、陸・海・空の広域的な物流の利便性が高い都市となっている。 一方で、鉄道線が中心市街地を東西に分断していることにより、東西交通の流れが阻害されており、中心市街地の魅力が低下している。そこで、平成28年にJR武豊線半田駅付近連続立体交差事業の事業認可を取得し、合わせて高架側道整備事業に着手するとともにJR半田駅前では、土地区画整理事業を実施し、魅力ある中心市街地の再生に取り組んでいる。 本地区には、古くから海運業や醸造業等で栄え、黒板囲いの蔵が今なお建ち並ぶ半田運河や明治時代にビール工場として建築された半田赤レンガ建物、童話作家「新美南吉」のふるさどで「ごんぎつね」の舞台にもなった岩滑地区など、多くの歴史的資源が残されている。これまで半田運河周辺では、景観に配慮した道路の高質化や広場整備を進めており、付近のミツカンミュージアム(MIM)や国盛「酒の文化館」などと合わせて、多くの観光客が訪れている。こうした取り組みが評価され、半田運河周辺地区は、平成29年度の都市景観大賞・都市空間部門において国土交通大臣賞を受賞している。これら一連の取り組みを契機として、半田運河周辺では、半田運河の魅力を発信し、賑わいを創出するため、夜の運河にヒカリノ玉を浮かべる「Canal Night」やマルシェ等を開催する「HOTORIプロジェクト」等、和文化に親しむイベントが新たに開催されるようになった。また、半田赤レンガ建物では、建物の耐震化及び再整備を行い、観光拠点となっている。岩滑地区は、童話作家新美南吉の生まれ故郷であり、南吉自身や南吉の文学を紹介・顕彰することを目として新美南吉記念館が平成6年に建設され、以後市内外に向けて南吉童話の魅力を発信してきた。その後、地元の有志が中心となって南吉童話の世界観を体現できるよう、新美南吉記念館に近接する矢勝川沿いに地道に彼岸花の植栽を行い、今では毎年秋に300万本が咲き誇り、本市の観光名所の1つとして位置付けられている。市としては、こうした事業を支援しPRを図るとともに、市内に点在化する半田運河、半田赤レンガ建物といった観光拠点との観光客の往来を促進するため、回遊性の向上を目的とした道路の高質化を行ったり、南吉ゆかりの地の景観保全を積極的に行うことで岩滑地区への観光客の誘客に力を入れてきた。こうした事業展開により、観光客誘致には一定の成果が出てきている。
課題 ○「Canal Night」等新たなイベント開催により、より多くの観光客が集まる半田運河では、来訪者の回遊性を向上させるため、人道橋の設置を行う必要がある。 ○JR半田駅前地区では、駅から半田運河へ繋がる動線において、観光客等の回遊性向上及び景観形成を図るため、歴史・文化の感じられる良好な歩行空間を形成する必要がある。 ○名鉄知多半田駅・JR半田駅間の中心市街地において、新たな産業人材及び地域の担い手の創出のため、現代的なライフスタイルに則したテレワーク施設を整備する必要がある。 ○JR武豊線の高架化にあわせ、中心市街地及び周辺地域へのアクセス改善のため、側道((都)武豊線東側道1号線ほか5路線)及び(都)荒古線を整備する必要がある。 ○岩滑地区への観光客誘致には一定の成果がみられるが、近年こうした礎を築いた地元有志の活動について、活動団体の高齢化や後継者不足の問題が顕在化しており、岩滑地区での観光誘客を持続可能なものとしていく必要性に迫られている。課題に対処していくため、幅広い世代の人たちが集い、南吉童話に触れ、慣れ親しめる拠点施設の整備を進める必要がある。 ○半田赤レンガ建物は半田運河周辺地区と岩滑地区とをつなぐ半田市の観光拠点であり、まち歩きをしている人に半田赤レンガ建物がかつてカプトビール工場であった歴史を感じていただくとともに、来年度迎えるジブリパークの開園に合わせて、さらなる誘客と賑わいを創出するための整備が必要である。
将来ビジョン(中長期) 【半田市総合計画】 ○半田運河周辺・半田赤レンガ建物を始めとする歴史的資源や新美南吉・山車祭りなどの文化的資源を活用し、観光拠点としての魅力を高め、交流人口の増加を図る。 ○半田運河や矢勝川周辺などの景観を保全するとともに観光資源として活用し、集客力の向上を図る。 ○半田運河周辺地区などの景観形成重点地区は、景観に配慮した道路整備などを進める。 ○主要な鉄道駅を中心として、生活に必要な機能を集めたコンパクトなまちづくりが求められている。 ○中心市街地(名鉄知多半田駅周辺とJR半田駅周辺)の一体的な市街地を形成する必要がある。 ○市街化区域内における低・未利用地の活用を促進する必要がある。 【立地適正化計画】 ○医療、福祉、商業等の都市機能を拠点に誘導し集積することにより、サービスを効率的に提供する。 ○各地域からの交通利便性が高く、基幹的な都市機能等が集積した中心拠点に都市機能誘導区域を設定し、重点的に都市機能の充実や魅力的な都市空間の創出を図る。 ○公共交通網や交通結節機能の強化により中心拠点との交通利便性を向上させるとともに、業務機能や観光機能を強化することで人の流れを創出し、来訪者や地域住民にとって必要な商業機能等の維持・確保を図る。 ○市街化区域から一団の工業地や事業所、災害の危険のある箇所を除いた都市基盤が整っている地域を居住誘導区域に設定し、暮らしやすい居住環境を維持することで人口密度を確保し、身近にある生活に必要な都市機能を維持します。 【都市計画マスタープラン】 ○「山車・蔵・南吉・赤レンガ」に代表される歴史・文化的資源やそれを取り巻く歴史的景観を保全・活用することで、地域の歴史や文化を大切にするまちづくりを進める。 ○半田の歴史や文化を感じる半田らしさがある雁宿公園から衣浦港までを活力創造軸として位置づけ、緑豊かな都市基盤の充実、都市機能の集積を図ることで、市民が誇れるにぎわいと活力に満ちた空間を創出する。 ○特に景観への配慮が必要な地区を景観形成重点地区に指定し、景観に配慮した道路整備などを進め、地区の目指すまちなみの形成を図る。

都市構造再編集 都市機能配置の考え方 ・都市機能が集積し、広域的な交通利便性が高い名鉄知多半田駅・JR半田駅周辺において、JR武豊線の高架化やJR半田駅前土地区画整理事業などによる重点的な都市機能の充実を行うとともに、周辺の歴史・文化資源を活かし、誰もが出かけたいと思う都市空間の創出により、拠点としての魅力を高める。 ・市中心部の賑わいの創出に向けて、民間事業者や市民と連携し、誰もがまちに出て歩きたくなるような魅力的な都市空間を創出する。 ・身近な生活圏では、中心部とのつながりを持ち、便利で閑静な居住環境の中で、自然や歴史を感じながら暮らすことができる都市づくりを推進する。
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目 標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目 標 値	目 標 年 度
「良い景観が形成されていること」に対する満足度	Pt	市民アンケートによる満足度の平均ポイント	半田運河の人道橋設置により回遊性を高め、満足度の向上を図る。	6.95	R1年度	7.29	R6年度
半田運河・JR半田駅周辺歩行者数	人／日	半田運河・JR半田駅周辺の歩行者数	半田運河・JR半田駅周辺の高質化や、側道、荒古線の整備等により、回遊性を向上させ、歩行者数を増やす。	12,493	R2年度	13,109	R6年度
半田運河周辺・半田赤レンガ建物観光入込者数	人／年	半田運河周辺・半田赤レンガ建物を訪れる観光客数	半田運河の回遊性の向上等により、観光客数増大を図る。	891,429	R1年度	919,179	R6年度
地域交流センター利用者数	人／年	新たに整備される地域交流センターの利用者数	地元から要望のある子供たちの集いの場としての役割も意識しつつ、南吉関連団体等と協調し、交流ラウンジを活用した南吉関連講座の開催や資料展示、本の紹介・貸出等により利用者数を増やす。	1,303	R1年度	1,500	R6年度

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
計画区域の整備方針	目標1：半田の歴史や文化を感じられるまちづくりを目指す。 ・黒板囲いの蔵が建ち並ぶ半田運河周辺地区において、歴史・文化を感じながらまち歩きを楽しめるように橋梁(人道橋)の整備を行う。 ・JR半田駅前周辺において、歴史・文化の感じられる良好な景観を有した緑豊かな道路の整備を行う。 ・名鉄知多半田駅前地区において、地域住民参加型イベントや商業者による販売促進イベントを開催する。 ・南吉童話の世界観の創造、維持活動の拠点の確保及びこうした活動の新たな担い手の模索・育成のために地域交流センター(公民館)の整備を行う。 ・半田運河周辺地区と岩滑地区の間地点となる半田赤レンガ建物において、まち歩きしながらかつてビール工場であった歴史を感じられるようカプトビールの広告塔の整備を行う。	■基幹事業 ・高質空間形成施設:半田運河周辺景観道路整備事業 ・高質空間形成施設:半田赤レンガ建物整備事業 ・高次都市施設(地域交流センター):岩滑公民館整備事業 ○関連事業 ・半田運河活性化推進事業 ・中心市街地活性化支援事業
	目標2：回遊性が高く、快適にまち歩きが楽しめる中心市街地の形成を目指す。 ・半田運河に流入する新川河口において、来訪者の回遊性の向上を図るため、橋梁(人道橋)の整備を行う。 ・JR半田駅前周辺において、歴史・文化の感じられる良好な景観を有した緑豊かな道路及び電線共同溝の整備を行う。 ・JR武豊線の高架に伴い、高架鉄道の両側に側道及び(都)荒古線を整備し、駅へのアクセスの向上および沿線環境の保全を図る。 ・名鉄知多半田駅前地区において、地域住民参加型イベントや商業者による販売促進イベントを開催する。	■基幹事業 ・道路:高架側道整備事業((都)武豊線東側道1号線ほか5路線) ・道路:(都)荒古線整備事業 ・道路:電線共同溝整備事業((都)新川線ほか2路線) ・高質空間形成施設:半田運河周辺景観道路整備事業 □提案事業 ・地域創造支援事業:高架下空間活用検討 ・まちづくり活用推進事業:中心市街地活性化プラン作成事業 ○関連事業 ・半田運河活性化推進事業 ・中心市街地活性化支援事業 ・JR武豊線半田駅付近連続立体交差事業 ・JR半田駅前土地区画整理事業
	目標3：賑わいのある中心市街地の形成を目指す。 ・JR半田駅前周辺において、歴史・文化の感じられる良好な景観を有した緑豊かな道路及び電線共同溝の整備を行う。 ・JR武豊線の高架に伴い、高架鉄道の両側に側道を整備し、駅へのアクセスの向上および沿線環境の保全を図る。 ・半田運河周辺において、HOTORIプロジェクトや和 cultura に親しむイベントを開催する。 ・名鉄知多半田駅前地区において、現代的なライフスタイルを実現でき、産業人材が集まれるようなテレワーク施設及び創業支援を目的としたチャレンジショップの整備を行う。 ・名鉄知多半田駅前地区などの中心市街地における地域の担い手を育成するためのワークショップなどを実施する。	■基幹事業 ・道路:高架側道整備事業((都)武豊線東側道1号線ほか5路線) ・道路:(都)荒古線整備事業 ・道路:電線共同溝整備事業((都)新川線ほか2路線) ・高質空間形成施設:半田運河周辺景観道路整備事業 ・高次都市施設(テレワーク推進施設):創造・連携・実践センター整備事業 □提案事業 ・地域創造支援事業:高架下空間活用検討 ・地域創造支援事業:チャレンジショップ整備事業 ・まちづくり活用推進事業:中心市街地活性化プラン作成事業 ○関連事業 ・半田運河活性化推進事業 ・中心市街地活性化支援事業 ・JR武豊線半田駅付近連続立体交差事業 ・JR半田駅前土地区画整理事業
その他		
【交付期間中の計画の管理について】 ・交付期間中において、事業の円滑な進捗と目標達成のため、まちづくり推進の庁内体制づくりをし、計画の管理実施、関係他団体との連絡協議、進捗途中での事業の再評価等と共に住民への広報活動を続けていく。		

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	635.2	交付限度額	307.2	国費率	0.484
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分		交付対象 事業費	費用便益比 B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路		高架側道整備事業((都)武豊線東側道1号線ほか5路線)	半田市	直		H28	R9	R3	R6	2,026.0	79.5	79.5		79.5	—
道路		(都)荒古線整備事業	半田市	直		R3	R9	R3	R5	334.0	52.5	52.5		52.5	—
道路		電線共同溝((都)新川線ほか2路線)	半田市	直		R4	R9	R4	R6	600.5	74.5	74.5		74.5	—
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設															
高質空間形成施設	緑化施設等	半田運河周辺景観道路整備事業	半田市	直		R2	R3	R2	R3	130.0	117.6	117.6		117.6	—
	緑化施設等	半田赤レンガ建物整備事業	半田市	直		R3	R3	R3	R3	9.2	9.2	9.2		9.2	—
高次都市施設	地域交流センター	岩滑公民館整備事業	半田市	直		R1	R4	R3	R4	494.7	194.2	179.2	15.0	179.2	—
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設	創造・連携・実践センター整備事業	半田市	直		R6	R6	R6	R6	89.0	66.0	66.0		66.0	—
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
合計										3,683.4	593.5	578.5	15.0	578.5	…A

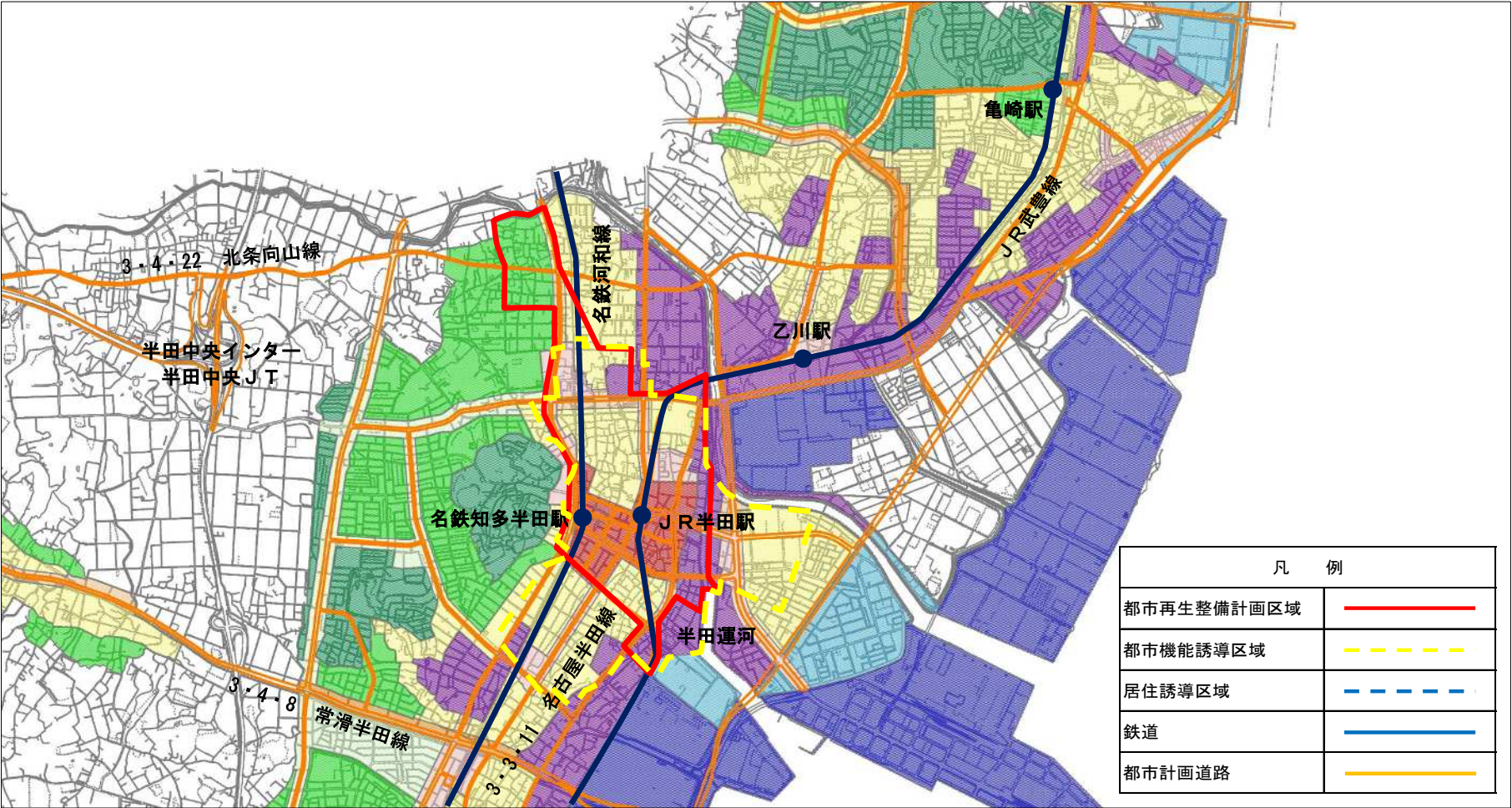
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分		交付対象 事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
地域創造		高架下空間活用検討	半田市	直		R3	R6	R3	R6	42.8	32.7	32.7		32.7	
支援事業		チャレンジショップ整備事業	半田市	直		R6	R6	R6	R6	10.0	10.0	10.0		10.0	
事業活用		事後評価業務	半田市	直		R6	R6	R6	R6	6.0	6.0	6.0		6.0	
調査															
まちづくり活		中心市街地活性化プラン作成事業	半田市	直		R6	R6	R6	R6	8.0	8.0	8.0		8.0	
動推進事業															
合計										66.8	56.7	56.7	0.0	56.7	…B

居住誘導促進事業													
事業	事業箇所名	事業主体	直／間		(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
居住誘導促進事業													
合計									0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
											合計(A+B+C)	635.2	

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
					/	/	/	/	/	/	
					/	/	/	/	/	/	
合計					/	/	/	/	/	/	0.0

[illegible]

半田歴史文化が香るまち地区(愛知県半田市)	面積	178.0 ha	区域	住吉町6～8丁目、東新町、西新町、榎下町、清水北町、清水東町、清水西町、前崎東町、前崎西町、堀崎町、天王町、北末広町、南末広町、泉町、広小路町、更生町、中町1～2丁目、協和町、港本町1～2丁目、本町1丁目、本町3～7丁目、勤内町、東天王町、東本町、銀座本町、山崎町、御幸町、新川町、山ノ神町、西端町、妙見町、南本町、中村町、荒古町、船入町、浜町、東雲町、源平町、新米町、幸町、岩滑中町2～7丁目、宮路町、大坪町
-----------------------	----	----------	----	---



半田歴史文化が香るまち地区(愛知県半田市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	半田の歴史文化を感じられるまちづくり ～住んで都。来て虞～ 目標1：半田の歴史や文化を感じられるまちづくりを目指す。 目標2：回遊性が高く、快適にまち歩きが楽しめる中心市街地の形成を目指す。 目標3：賑わいのある中心市街地の形成を目指す。	代表的な指標	「良い景観が形成されている」ことに対する満足度 (Pt)	6.95 (R1年度)	→	7.29 (R6年度)
			半田運河・JR半田駅周辺歩行者数 (人/日)	12,493 (R2年度)	→	13,109 (R6年度)
			半田運河周辺・半田赤レンガ建物観光入込客数 (人/日)	891,429 (R1年度)	→	919,179 (R6年度)

